

JFS-C インテグリティープログラム

協会データベース入力情報による年次パフォーマンス分析

2022 年



一般財団法人 食品安全マネジメント協会
Japan Food Safety Management Association

目次

1. データベース入力情報による年次パフォーマンス分析	3
1.1 指標	3
1.2 インテグリティプログラムで考慮するリスク要因.....	3
2 リスク要因を指標とした KPI とその評価.....	4
2.1 a) 認証機関の活動国数	4
2.2 c) アクティブな審査員の数	4
2.3 e) 地域別審査件数.....	5
2.4 f) 認証登録数	5
2.5 g) 審査員一人当たりの審査件数.....	6
2.6 h) 分類別不適合件数.....	6
2.7 i) 不適合の等級と件数	7
2.8 j) 審査実施工数	8
2.9 項目別不適合件数	8

1. データベース入力情報による年次パフォーマンス分析

1.1 指標

協会データベース入力情報による年次パフォーマンス分析は、JFS-C インテグリティプログラムの一環として「JFS-C 認証プログラムに係る認証機関に対するサーベイランス活動規程」（PR-301-06-R04)に基づき、JFSM データベースシステムに入力されたデータをもとにリスク要因を評価する。このデータは以下を指標として分析を行う。

- ・ 2023 年 2 月 20 日ダウンロード分を分析した。
- ・ 「判定年月日」を 2022 年とし分析した。
- ・ 2022 年は改版や移行年ではなかった為、Version ごとの分析はしない。
- ・ 「JFS-C 認証プログラムに係る認証機関に対するサーベイランス活動規程」（PR-301-06-R05)に基づく KPI 指標のうち、「データベースによる認証業務評価」を評価対象とした。
- ・ この分析はデータベース入力情報のみの分析であり、全体評価とした。
- ・ 各認証機関には、デスクトップ評価、事務所審査、認証活動における KPI 評価等を総合的に評価し、まとめる。

1.2 インテグリティプログラムで考慮するリスク要因

インテグリティプログラムでは、以下の指標から総合的に認証業務評価を行うが、協会データベース入力情報による年次パフォーマンス分析は赤字で示したリスク要因を指標とし、その評価の目的に沿って分析する。

データベースによる認証業務評価

項番	関連するインテグリティプログラム および KPI	考慮されるリスク要因											
		a)	b)	c)	d)	e)	f)	g)	h)	i)	j)	k)	l)
3.6.3	デスクトップレビュー (審査報告書モニタリング)	△		△	△				△			△	
3.6.4	事務所審査	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
3.6.5	認証活動における KPI	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.6.6 1)	データベースによる認証業務評価	○		○		○	○	○	○	○	○		

考慮されるリスク要因と評価の目的

考慮されるリスク要因	評価の目的
a) 認証機関の活動国数	審査活動範囲の多様性を評価するため
b) 認証機関の中央機能の数	審査活動範囲の多様性を評価するため

c) アクティブな審査員の数	審査件数に対するバランスを評価するため
d) 審査が実施される言語	地域間での審査環境の差異
e) 地域別審査件数	地域間での審査環境の差異
f) 認証登録数	審査員数に対するバランス
g) 審査員一人当たりの審査件数	審査員間の活動バランス
h) 分類別不適合件数	審査員・認証機関ごとの傾向や差異
i) 不適合の等級と件数	審査員による審査のばらつき
j) 審査実施工数	算定工数との差異や整合性
k) 食品安全に影響する重大な製品リコール	認証組織の規格への適合性評価の確認
l) 関連する苦情の件数	認証活動への評価

2 リスク要因を指標とした KPI とその評価

2.1 a) 認証機関の活動国数

評価の目的：審査活動の多様性を評価する為

- ・ 2022 年の JFS-C の認証活動において中国とタイに認証組織が誕生した。
- ・ 今後、日本以外の国からの登録認証機関、審査員、登録認証組織、そして審査言語、また経済状況など、多様性の評価指標を決定する。

2.2 c) アクティブな審査員の数

評価の目的：審査件数に対するバランスを評価するため

年度ごとの審査登録員のうち新規登録、一停止、取消、の各累計は、以下のとおりである。

年度ごとの審査員登録数の累計

年度	有効(新規)	一時停止	取消
2016	42	2	8
2017	41	11	10
2018	32	1	12
2019	10	0	0
2020	8	0	1
2021	2	0	13
2022	4	5	31
Total	139		71

2022 年初の有効審査員：87 名

2022 年末の有効審査員：63 名

2022 年末の一時停止：5 名

*2022 年 12 月 31 日時点

- ・ 2022 年末までの累計審査員登録数は 139 名である。
- ・ 2022 年末の有効審査員数は 63 名である。2022 年は、認証機関の契約解除による審査員の取消が多数を占める。
- ・ 2022 年に一時停止した審査員は 9 名いたが、2022 年中に一時停止解除を行った審査員は 4 名おり、2022 年 12 月末の一時停止審査員は 5 名となっている。
- ・ 2022 年は 4 名の新規審査員登録があった。

2.3 e) 地域別審査件数

評価の目的：地域間での審査環境の差異。

2022 年は 30 都道府県と海外 2 か国に登録認証組織があり、2021 年の 27 より 3 都道府県と海外 2 カ国増となった。

2.4 f) 認証登録数

評価の目的：審査員数に対するバランス

- ・ 2022 年の有効認証登録組織は、105 組織(4 件の登録削除、審査数 108 件)、JFS-C 有効審査員は 2022 年末に 63 名であった。
- ・ 年審査件数(108 件)と 2022 年末に有効審査員(63 名)から算出する一人あたり年間審査件数は 1.7 件である。
- ・ 上記の結果より、計算上では審査員登録維持の為の第一要件としている JFS-C の年間審査数 5 件を達成できないことになる。
- ・ 認証機関により審査員数、認証登録数に差がある為、認証機関ごとの評価を行っていく。
- ・ 参考として 2021 年と 2022 年のセクター/サブセクター別認証件数を以下に示す。
- ・ セクター・サブセクターごとの認証件数は、各認証機関のレポートで比較する。

参考) セクター/サブセクター別認証件数

セクター/サブセクター	CI	CII	CIII	CIV	K
2021 年	29	3	21	59	0
2022 年	39	12	32	68	1

注) 一組織の複数のセクター重複も含む。

2.5 g) 審査員一人当たりの審査件数

評価の目的：審査員間の活動バランス

審査員間の活動バランスを評価する。

審査員一人当たりの審査件数を以下にまとめた。

審査員一人当たりの審査件数（2022 年）

15 件	1 名	4 件	9 名
12 件	1 名	3 件	13 名
7 件	2 名	2 件	8 名
6 件	6 名	1 件	10 名
5 件	5 名		

参考）審査員一人当たりの審査件数（2021 年）

10 件	1 名	3 件	7 名
6 件	1 名	2 件	15 名
5 件	5 名	1 件	31 名
4 件	5 名		

- ・ 実際の DB 入力審査員名から算出した結果である。
- ・ 以下、審査員一人当たりの審査件数（2022 年）と、参考）審査員一人当たりの審査件数（2021 年）と比較する。
- ・ 年間審査 1 件の審査員が 31 名だった 2021 年に比べ、2022 年は 15 名に減少し、審査件数の最多が 10 件であった 2021 年に比べ、2022 年では 15 件になるなど、審査数の底上げとなった。
- ・ 登録認証組織数の増加にもよるが、チームでの審査が多くなったことによる増加であることも否めない。
- ・

2.6 h) 分類別不適合件数

評価の目的：審査員・認証機関ごとの傾向や差異

判定日を 2022 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日とした審査数とその分類別不適合件数を以下にまとめた。

審査分類別不適合の件数（2022 年）

審査分類		不適合件数													不適合数累計	審査一件あたりの不適合数
	件数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計			
初回審査	25	3	6	10	0	4	1	0	1	0	0	0	25	54	2.2	
定期審査①	33	11	9	5	5	3	0	0	0	0	0	0	33	46	1.4	
定期審査②	32	17	13	2	0	0	0	0	0	0	0	0	32	17	0.5	
再認証審査	17	2	9	2	1	3	0	0	0	0	0	0	17	28	1.6	
臨時審査	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1.0	
計	108	33	38	19	6	10	1	0	1	0	0	0	108	146	1.4	

参考）審査分類別不適合の件数 Ver.3.0（累計）

審査分類	不適合件数													合計	不適合数累計	審査一件あたりの不適合数
	件数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10				
初回審査	32	5	8	11	2	4	1	0	1	0	0	0	32	64	2.0	
定期審査①	39	15	7	5	8	3	1	0	0	0	0	0	39	58	1.5	
定期審査②	43	20	18	4	0	1	0	0	0	0	0	0	43	30	0.7	
再認証審査	27	5	13	2	2	4	1	0	0	0	0	0	27	44	1.6	
臨時審査	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1.0	
計	142	45	47	22	12	12	3	0	1	0	0	0	142	197	1.5	

参考）審査分類別不適合の件数 Ver.2.3（総数）

審査分類	不適合件数													合計	不適合数累計	審査一件あたりの不適合数
	件数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10				
初回審査	35	7	14	6	5	0	0	1	0	0	1	1	28	66	1.9	
定期審査①	34	16	11	2	2	0	2	0	0	1	0	0	18	39	1.1	
定期審査②	17	4	2	2	2	4	0	3	0	1	1	0	15	63	3.7	
再認証審査	23	9	8	2	4	0	0	0	0	0	0	0	14	24	1.0	
臨時審査	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
計	111	38	35	12	13	4	2	4	0	2	2	1	75	192	1.9	

- ・ 2021 年の Ver3.0 の審査数が 34 件であったため、審査分類別不適合の件数（2022 年）と参考）審査分類別不適合の件数 Ver.3.0（累計）は、に大差はない。
- ・ 参考）審査分類別不適合の件数を Ver.2.3(総数)と、Ver3.0(累計)について以下に考察する。
- ・ 審査分類別不適合の件数 Ver.2.3（総数）では 10 件の不適合を摘出している審査があった。
- ・ 審査一件あたりの不適合数の平均が、Ver.2.3（総数）では 1.9 件であるが、Ver.3.0（累計）では 1.5 件となっており、審査一件あたりの不適合数の平均が少なくなっている。
- ・ 審査分類別不適合の件数を Ver.2.3(総数)では、不適合数摘出の件数 4 件以下が 85%であるが、Ver.3.0（累計）では、97%を占める。

2.7 i) 不適合の等級と件数

評価の目的：審査員による審査のばらつき

- ・ 審査は必ずしも一人で行っている訳ではない為、各審査員による不適合の等級と件数を正確には特定できない。

- ・ 2022 年の不適合の等級は軽微のみであった。
- ・ 項目別不適合件数については、2.9 で考察する。

不適合の等級と件数を 2022 年までの累計審査分類別不適合の等級と件数を以下に表す。

2021 年までの累計審査分類別不適合の等級と件数

年度	致命的	重大	軽微	審査件数	不適合/審査
2016	0	0	0	2	0
2017	0	0	16	13	1.23
2018	0	0	66	37	1.78
2019	0	0	130	47	2.77
2020	0	3	171	77	2.26
2021	0	3	238	143	1.69
2022	0	0	146	108	1.35
合計	0	6	621	319	1.97

2.8 j) 審査実施工数

評価の目的：算定工数との差異や整合性

算定工数と実施工数の差異やその整合性

- ・ 2022 年 108 件の審査件数のうち 5 件は最小工数の自動計算に必要な従業員数等の入力なかった。
- ・ 103 件全件が最小審査工数より上回っている。
- ・ 2 件は、最小工数の倍以上の実施工数であった。

2.9 項目別不適合件数

項目別不適合件数は KPI 評価のリスク要因ではないが、トレンドとして考察する。

項目別不適合件数（2022 年）を以下に示す。各認証機関の摘出件数との対比は個別に認証機関ごとに比較する。

項目別不適合件数（2022 年）

	初回審査	定期審査①	定期審査②	臨時審査	再認証 審査	
	合計	合計	合計	合計	合計	項目別合計

FSM13	8	7	3	0	3	21
HACCP 手順 4	5	6	1	0	0	12
FSM9	3	2	3	0	1	9
GMP8	4	2	0	0	3	9
GMP7	2	3	0	0	2	7
FSM17	1	1	1	0	3	6
HACCP 手順 6	3	1	1	0	1	6
FSM11	2	1	0	0	2	5
FSM14	2	1	0	0	1	4
FSM25	3	1	0	0	0	4
HACCP 手順 12	0	2	2	0	0	4
FSM7	2	1	0	0	0	3
FSM16	1	0	0	0	2	3
FSM19	2	1	0	0	0	3
FSM22	0	1	0	1	1	3
GMP6	1	0	0	0	2	3
HACCP 手順 9	1	1	1	0	0	3
HACCP 手順 10	2	1	0	0	0	3
FSM6	1	0	1	0	0	2
FSM10	0	0	1	0	1	2
FSM15	1	1	0	0	0	2
FSM18	0	2	0	0	0	2
FSM20	0	1	1	0	0	2
FSM24	0	1	0	0	1	2
GMP3	2	0	0	0	0	2
GMP9	0	1	0	0	1	2
GMP10	0	0	2	0	0	2
GMP11	1	1	0	0	0	2
GMP15	0	1	0	0	1	2
GMP16	1	1	0	0	0	2
GMP17	1	0	0	0	1	2
GMP18	1	1	0	0	0	2
HACCP 手順 11	0	1	0	0	1	2
FSM4	0	0	0	0	1	1
FSM8	0	1	0	0	0	1
FSM21	1	0	0	0	0	1
FSM23	0	1	0	0	0	1
GMP4	0	1	0	0	0	1

GMP13	1	0	0	0	0	1
GMP14	1	0	0	0	0	1
HACCP 手順 7	1	0	0	0	0	1
FSM1	0	0	0	0	0	0
FSM2	0	0	0	0	0	0
FSM3	0	0	0	0	0	0
FSM5	0	0	0	0	0	0
FSM12	0	0	0	0	0	0
FSM26	0	0	0	0	0	0
GMP1	0	0	0	0	0	0
GMP2	0	0	0	0	0	0
GMP5	0	0	0	0	0	0
GMP12	0	0	0	0	0	0
GMP19	0	0	0	0	0	0
HACCP 手順 1	0	0	0	0	0	0
HACCP 手順 2	0	0	0	0	0	0
HACCP 手順 3	0	0	0	0	0	0
HACCP 手順 5	0	0	0	0	0	0
HACCP 手順 8	0	0	0	0	0	0
合計	54	46	17	1	28	146

参照) 2016 年～2022 年の不適合の項目と累計件数と、参照) 2016 年～2021 年の不適合の項目と累計件数を以下に比較する。

- FSM13「購買管理」「サプライヤーの管理」「外部委託管理」がどの審査種別でもトップとなった。
*データベース上で枝番管理ができない為、枝番のある項目は一つにまとめて算出している。
- 2016 年～21 年の不適合の項目と累計件数のトップ項目
 - 1 位 HACCP 手順 4：フローダイアグラムの作成
 - 2 位 HACCP 手順 6：危害要因の分析
 - 3 位 FSM8：文書・記録の管理
 - 4 位 FSM27：検証活動及び結果の分析
- 2016 年～22 年の不適合の項目と累計件数のトップ項目
 - 1 位 HACCP 手順 4：フローダイアグラムの作成
 - 2 位 HACCP 手順 6：危害要因の分析
 - 3 位 FSM8：文書・記録の管理
 - 4 位 FSM13：購買管理・サプライヤーの管理・外部委託管理
 - 5 位 FSM27：検証活動及び結果の分析
- 上位 3 項目は 2021 年までの累計と変化はなかった。

- ・ Ver. 3.0 の改版による項番の変更のため、FSM13 の不適合件数が増えたが、Ver2.3 からの不適合検出傾向については大きな変更は無い。

参照) 2016 年～2022 年の不適合の項目と累計件数

項目	項目名	件数
HACCP 手順 4	フローダイアグラムの作成	61
HACCP 手順 6	危害要因の分析	30
FSM8	文書・記録の管理	26
FSM13	購買管理・サプライヤーの管理・外部委託管理	21
FSM27	検証活動及び結果の分析	20
GMP8	物理的、化学的、生物的製品汚染リスク	21
GMP11	整理整頓、清掃、衛生	19
FSM11	内部監査	14
GMP14	有害生物防除	12
GMP9	隔離と交差汚染	11
GMP17	教育・訓練	11

参照) 2016 年～2021 年の不適合の項目と累計件数

項目	項目名	件数
HACCP 手順 4	フローダイアグラムの作成	49
HACCP 手順 6	危害要因の分析	30
FSM8	文書・記録の管理	26
GMP8	物理的、化学的、生物的製品汚染リスク	21
FSM27	検証活動及び結果の分析	20
GMP11	整理整頓、清掃、衛生	19
FSM11	内部監査	14
GMP14	有害生物防除	12
GMP9	隔離と交差汚染	11
GMP17	教育・訓練	11

参照) 不適合の項目と件数 Ver.2.3 (総計)

番号	項目	件数
FSM8	文書・記録の管理	16

HACCP 手順 4	フローダイアグラム（工程図）の作成	13
HACCP 手順 9	モニタリング方法の設定	13
FSM16	サプライヤーのパフォーマンス	12
GMP11	整理整頓、清掃、衛生	11
HACCP 手順 6	危害要因の分析	9
FSM11	内部監査	7
GMP6	保守	7
FSM13	是正処置	6
FSM21	測定・モニタリング装置・機器の管理	6
FSM22	食品防御	5
GMP4	製造・保管区域の仕様、ユーティリティの管理	5
GMP9	隔離と交差汚染	5
FSM7	資源の管理	4
FSM15	購買	4
FSM20	重大事故管理	4
FSM28	食品安全マネジメントシステムの更新	4
HACCP 手順 8	許容限界の設定	4
FSM27	検証活動及び結果の分析	3
FSM29	アレルギーの管理	3
HACCP 手順 12	文書化及び記録保持	3
GMP3	施設・設備の設計、施工及び配置	3
GMP5	装置・器具	3
GMP8	物理的、化学的、生物学的製品汚染リスク	3
GMP14	有害生物防除	3
GMP15	輸送	3
GMP16	従業員等の衛生、作業服及び健康管理	3
GMP17	教育・訓練	3
FSM2	食品安全の方針	2
FSM6	マネジメントレビュー	2
FSM26	食品偽装防止対策	2
FSM30	食品製造環境のモニタリング	2
HACCP 手順 2	製品の特徴の確認	2
HACCP 手順 7	重要管理点の設定	2
HACCP 手順 11	検証手順の設定	2
GMP10	在庫の管理	2

FSM10	手順	1
FSM17	外注	1
FSM18	苦情への対応	1
FSM23	製品表示	1
FSM24	トレーサビリティ	1
FSM25	検査	1
HACCP 手順 5	フローダイアグラムの現場での確認	1
GMP7	従業員用の施設	1
GMP12	水や氷の管理	1
GMP13	廃棄物の管理	1
GMP18	製品の包装と保管	1

参照) 不適合の項目と件数 Ver.3.0 (累計)

番号	項目	件数
FSM13	購買管理・サプライヤーの管理・外部委託管理	28
HACCP 手順 4	フローダイアグラム (工程図) の作成	16
GMP8	整理整頓、清掃、殺菌・消毒	14
FSM9	文書化手順・文書化情報の管理及び保管	10
FSM17	測定・モニタリング装置・機器の管理	10
GMP7	教育・訓練	8
HACCP 手順 6	危害要因の分析	7
FSM14	トレーサビリティ	6
FSM11	手順	5
FSM16	アレルギーの管理	5
FSM19	検査・食品製造環境のモニタリング	5
FSM22	重大事故管理	5
HACCP 手順 10	是正処置の設定	5
HACCP 手順 12	文書化及び記録保持	5
FSM6	食品安全の方針及び目標	4
FSM7	食品防御	4
FSM20	内部監査	4
FSM25	是正処置	4
HACCP 手順 9	モニタリング方法の設定	4
GMP16	保管	3
FSM8	食品偽装防止対策	2

HACCP 手順 7	重要管理点の設定	2
GMP4	物理的、化学的、生物的製品汚染リスクと隔離	2
GMP13	有害生物防除	2
FSM3	マネジメントレビュー	1
FSM12	資源の管理	1
FSM4	食品安全に係る法令の遵守	1
GMP5	従業員用の施設	1

以上